

エコアクション21

環境活動レポート

(2008年度：2008年4月～2009年3月)



新展示場
2009年4月オープン

2009年10月31日

有限会社 **佐野石材**

環境方針

環境理念

当社は地球環境に配慮し地域環境の保全向上を目指す企業として業務を推進していきます。

環境方針

当社は静岡県を中心とした墓石の製造及び施工の事業活動を行う企業として、地球環境の向上に努める事を、経営の最重要課題の一つとして行動します。事業活動において、以下の環境方針を定め、実現に向けて自主的・積極的に推進し計画的・効果的に取り組みます。

1, 事業を通じた環境保全への取り組み

- ・ 周囲の住民の理解と協力を得た上で事業を行い、環境の保全に努めます。
- ・ 製造工程及び事業所で使用する資源およびエネルギーの消費量削減に取り組み、二酸化炭素排出量の削減を目指します。
- ・ 製造工程及び事業所で使用する水資源量の削減に取り組みます。
- ・ 製造工程で排出される端材の削減及び再利用に取り組みます。
- ・ 廃棄物の削減に取り組みます。
- ・ 地震対策の必要性を社会に啓蒙し、墓石倒壊後の廃材産出を未然に防ぎます。

2, 環境方針を全社員に周知徹底し環境に対する意識向上に努めます。

3, 環境関連法規を遵守し環境汚染防止に努めます。

4, 環境保全に対する環境目標を設定し、定期的に結果を見直すことで継続的な環境経営システムの改善に取り組みます。

平成19年4月1日 (平成20年4月1日改定)

有限会社 佐野石材
代表取締役 佐野保男

事業活動の内容

1) 事業所名

有限会社 佐野石材
代表取締役 佐野保男

2) 所在地

本社 : 静岡県藤枝市郡1丁目8-33
工場 : 静岡県焼津市小柳津243

3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 : 工場長 岩田稔
連絡先 電話 : 054-641-1667
FAX : 054-645-0141
メール : yamasa@sanosekizai.com

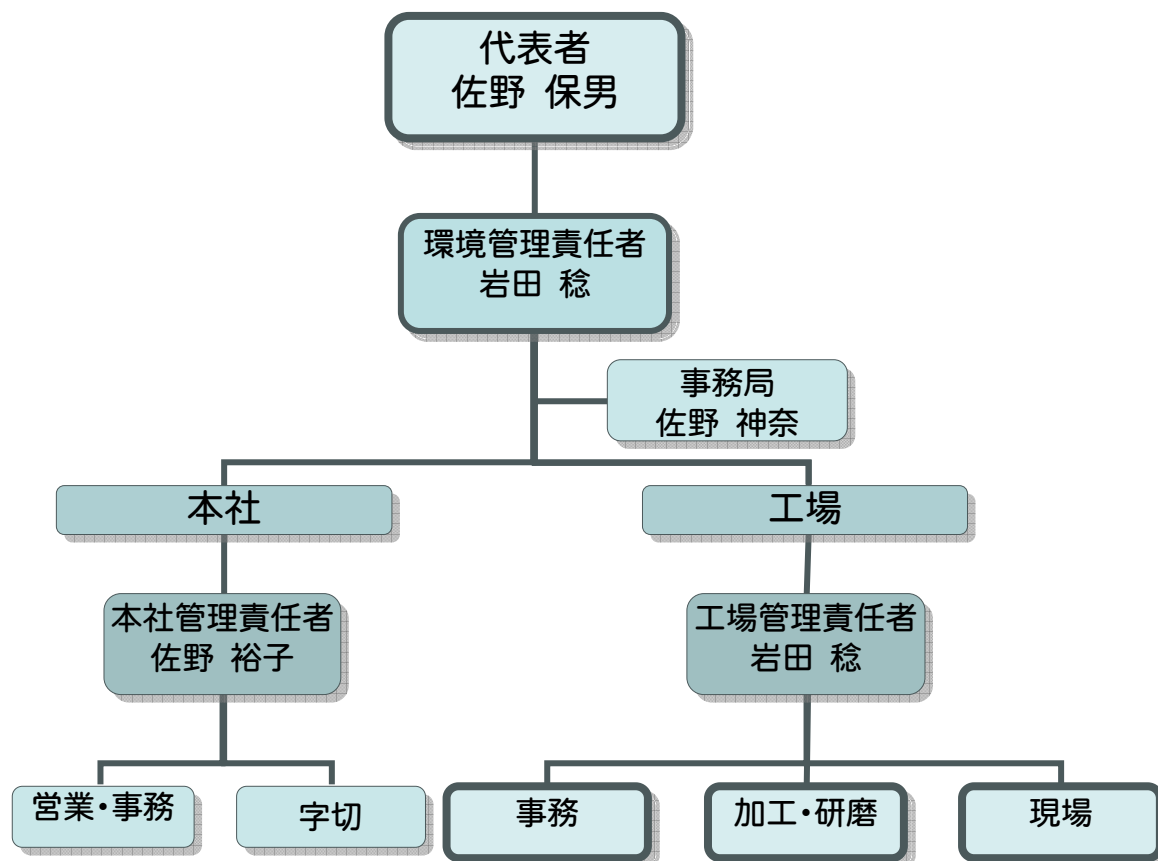
4) 事業の規模

資本金 500万円
社員数 14名(2009年3月末現在)
創業 1917年
法人成 1990年
売上高 205百万円(2007年度)
床面積 本社 165m²
工場 240m²

5) 事業内容

石材加工及び施工 (主として墓石)
他石工事

6) 実施体制の構築



環境目標とその実績

1) 過去3年間の実績

(期間：4月1日～3月31日)

項目	2005年度	2006年度	2007年度
電気 (kWh)	49245	49505	49093
LPG (kg)	190.03	165.81	132.89
灯油 (ℓ)	738.50	298.00	1024.00
ガソリン (ℓ)	5545.38	5090.23	5174.44
軽油 (ℓ)	3082.16	3476.24	3840.91
CO2排出量 (kg-CO2)	41988.47	40893.85	42507.14
廃棄物排出量 (t)	181.28	133.19	137.99
水道水使用量 (m ³)	832.25	843.5	1024
売上あたりのCO2排出量 (kg-CO2/百万円)	190.872	203.832	210.813

2) 環境目標

2006年度を基準とし、売上高比の排出量削減を目指します。

取組項目		2006年度実績	2008年度	2009年度	2010年度迄
電気使用量 (kwh)	総量	49505.00	2%削減	2.5%削減	3%削減
	売上高比	246.75			
軽油使用量 (ℓ)	総量	3476.24	1%削減	2%削減	3%削減
	売上高比	17.33			
ガソリン使用量 (ℓ)	総量	5090.23	1%削減	2%削減	3%削減
	売上高比	25.37			
二酸化炭素排出量 (kg-Co2)	総量	40893.85	1%削減	2%削減	3%削減
	売上高比	203.83			
廃棄物総排出量 (t)	総量	133.19	1%削減	2%削減	3%削減
	売上高比	0.66			
水使用量 (m ³)	総量	843.50	1%削減	1.5%削減	2%削減
	売上高比	4.20			

※売上高の単位は百万円。

※LPG、灯油については、当社において環境負荷の割合が極小なため、現状維持を努める事とします。

また、地震対策による廃材産出の防止のために、免震施工を勧めていきます。

その数値目標として、以下を目指します。

取組項目		2006年度実績	2008年度	2009年度	2010年度迄
免震施工 (件)	件数	96	30%増	35%増	40%増

環境活動計画

取組目標	対象	取組内容	取り組み状況	評価
電気使用量の削減	全社	エアコンの温度管理	夏28℃、冬20℃の表示をリモコンに貼付。	○
		暖房器具の適切な使用	不在時や退社時の電源管理を徹底。	○
		OA機器の電源管理	長時間の不在時や退社時の電源管理を徹底。	△：一時不在時にPCの電源オフなどは忘れることがあったので、今後は徹底する。
		照明機器の省エネルギー化の促進	エネルギー効率のよいものに順次変更。	○
		消灯の徹底	不在時や無人部屋の消灯を徹底。	○
		電動機具の効率的な使用		○
ガソリン、軽油使用量の削減	全社	エコドライブに努める	空ぶかし、急加速急発進などの禁止。燃費の管理。	△：時間に余裕がない時はできていないので、できるだけ余裕を持って出発するようにする。
	工場	適切な工事車両の配車	必要な車両や工事車両の運搬。	○
	本社	営業車両の効率的利用	訪問地をまとめるなど。	○
廃棄物排出量の削減	工場	梱包材の節減、再利用の促進	取引先にも呼びかける。	△：製品に支障がでない程度に、可能な限り引き取ってもらっている。
		廃材(材料の余りなど)の再利用	砕石に利用。	○：出さない努力をしており、出ても部品などに使用している。
		道具のメンテナンスの徹底		○
		免震施工の奨励	地震で墓石が廃材にならないよう啓蒙し、対策を勧める。	○：お客様には必ず地震対策の必要性を話している。
		廃棄物処理時の近隣への配慮		○
	全社	分別回収の徹底		○
		紙使用量の削減	FAXのPC管理。裏紙利用、縮小印刷など。ミスプリント・コピーをなくす。シュレッダーは機密文書に限る。	○
		ペーパーレス化の促進	社内LAN、サーバー管理の強化。	○
総排水量の削減	工場	井戸水の効率的な使用		○
	全社	水道水の節水	蛇口付近に節水の表示を貼付け、また呼びかける。	○
	全社	漏水の検査・補修		○

○：取り組んでいる、△：やや取り組んでいる、×：取り組んでいない

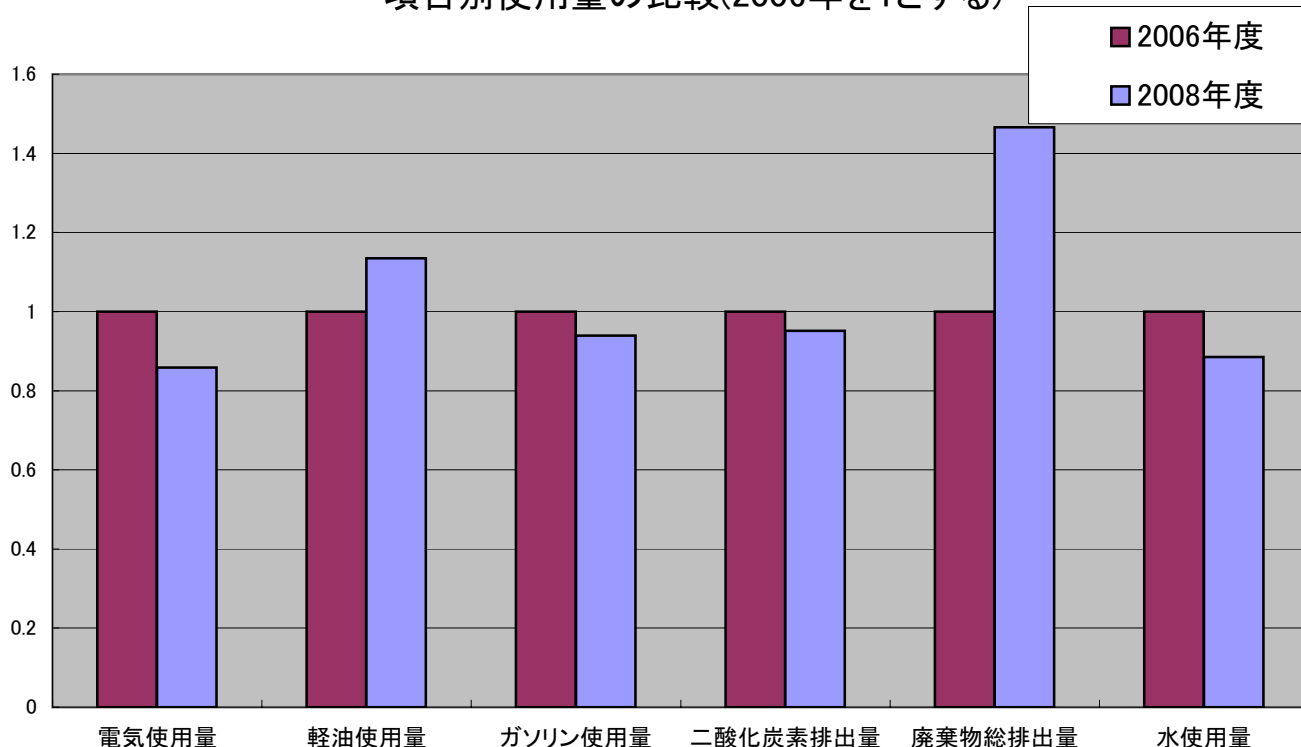
環境活動の結果と評価

1) 2008年度の結果

取組項目		基準値	実績	増減率 (%)	評価
電気使用量	総量(kwh)	49505.00	43530.00	87.9	○
	売上高比(kwh/売上)	246.75	211.94	85.9	
軽油使用量	総量(ℓ)	3476.24	4037.46	116.1	×
	売上高比(ℓ/売上)	17.33	19.66	113.5	
ガソリン使用量	総量(ℓ)	5090.23	4893.77	96.1	○
	売上高比(ℓ/売上)	25.37	23.83	93.9	
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2)	40893.85	39827.78	97.4	○
	売上高比(kg-CO2/売上)	203.83	193.92	95.1	
廃棄物総排出量	総量(t)	133.19	199.83	150.0	×
	売上高比(t/売上)	0.66	0.97	146.6	
水使用量	総量(m³)	843.50	764.50	90.6	○
	売上高比(m³/売上)	4.20	3.72	88.5	

※売上高の単位は百万円。

項目別使用量の比較(2006年を1とする)



取組項目		基準値	実績	増減率(%)	評価
免震施工(件)	件数	96	171	178.13	○

2) 評価

①電気使用量	消灯やエアコンの温度管理などを徹底的に気をつけた。仕事量の関係もあるが、これからも無駄遣いしないように注意する。
②軽油、ガソリン使用量	軽油は、現場での廃材の増加により、捨てに行く回数が増えており、また砂利購入時に自社ダンプを使用するようになったので、それらによって増加していると考えられる。ガソリンは、総量・売上比とも何とか削減できた。仕事量にも関係するが、無駄な使用をしないように今後も気をつける。
③廃棄物排出量	改修工事の増加により、大幅に増えてしまった。解体によって排出される物は他と切り離して考える余地があるように思われる。今後の検討が必要。
④水使用量	漏水を直したことで大幅に減った部分が出てきた。漏水がない正常な状態と思われるデータがとれるようになったら、そちらに基準値を合わせることも検討する。仕事量も関係するが、無駄に使用しないように今後も気をつける。
⑤免震施工件数	目標よりも大幅に増やすことができた。最近各地で規模の大きな地震が起きていることで地震に対する関心が高まっており、墓石倒壊のニュースなどが流れるなど、お墓にも地震対策が必要だと言うことが少しずつ浸透してきているように思われる。

3) 考察

最近の石材業界において、少子化問題が新規墓石注文数の減少につながり、結果、古い墓地の改修が増加しているように思う。そのため、廃材処理も増え、運搬車輛の稼働量も増えている。墓石等の施工方法にも変化が起きている。材料の部材の拡大、免震施工の増加等による車輛使用回数の増加などがある。こういうことを踏まえての上記の結果は、頑張った方ではないだろうか。社員の環境問題への取組も自然にできるようになっている。(工場内の整理整頓、ゴミの分別作業等)なかなか頑張ってくれてはいるが、もう一踏ん張り目標に向かって努力するように促していく。

責任と権限

1. 代表者

- 環境理念及び環境方針を策定する
- 環境目標および環境行動計画を立案し、環境経営システムとして従業員に周知徹底させる
- 環境経営システムの構築、環境目標および環境行動計画の実施に必要な各リソース（人的、物的、財務的）の準備について承認する
- 環境管理責任者を任命する
- 必要に応じて社内の環境管理を議題とする会議を開催する
- 環境パフォーマンス評価の報告を受け、必要に応じて改善等を指示する
- 環境活動レポートの作成を指示し、環境報告を行う
- 環境経営システムおよび環境方針の見直しを随時行う

2. 環境管理責任者

- 環境経営システムの運用を行う
- 環境目標および環境行動計画の実施に必要な各リソース（人的、物的、財務的）について準備を行い、代表者に報告する
- 必要に応じて社内の環境管理を議題とする会議開催を代表者に申し入れる
- 環境パフォーマンス評価を代表者に報告する
- 環境活動レポートの作成を行う

3. 事務局

- 環境経営システムの構築および運用に関して、代表者・環境管理責任者の業務を補佐する
- 環境管理責任者の指示により環境パフォーマンス評価のために必要な調査を行う
- 環境管理責任者の指示により環境活動レポートの作成を補佐する
- 環境経営システムに関するデータを収集・管理および保管する

4. 部門責任者

- 環境経営システムの運用に関して、各部門の管理を行う
- 定期的に各部門の運用状態の調査、評価を行い、環境管理責任者に報告する

環境関連法規への違反、訴訟の有無

区分	関連法規	内容	遵守状況
本社・工場	特定家庭用機器再商品化法		○
	自動車リサイクル法		○
工場	廃棄物の処理び清掃に関する法律	委託契約	○
		マニフェストの公布	○
		マニフェストの保管	○
	浄化槽法		○
	騒音規制法	特定施設設置の届け出	○
	振動規制法	特定施設設置の届け出	○
	焼津市廃棄物の処理び清掃に関する条例		○
本社	藤枝市廃棄物の処理び清掃に関する条例		○

当社に適用される関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありませんでした。

環境上の緊急事態への準備及び対応

現在、環境に多大な影響を与えると思われる事態(水質、土壌、大気汚染など)の根拠となる有害物質・薬品等は保管していないので、特別に想定していません。
が、工場においては、石材を固定するなど地震による倒壊防止対策をとっています。
また、店舗においても、展示墓石には地震対策を施し、倒壊に備えています。

〈代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果〉

最近の石材業界において、少子化問題が新規墓石注文数の減少につながり、結果、古い墓地の改修が増加しているように思う。そのため、廃材処理も増え、運搬車輛の稼働量も増えている。墓石等の施工方法にも変化が起きている。材料の部材の拡大、免震施工の増加等による車輛使用回数の増加などがある。こういうことを踏まえての上記の結果は、頑張った方ではないだろうか。社員の環境問題への取組も自然にできるようになっている。（工場内の整理整頓、ゴミの分別作業等）なかなか頑張ってくれてはいるが、もう一踏ん張り目標に向かって努力するように促していく。

2009年6月1日

代表取締役 佐野保男